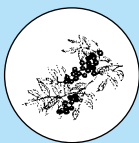


おこへ



町の花ハマナス



町のホナナカマド

# 議会だより

第144号

平成28年5月16日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2131  
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



中村ピアノエレクトーン音楽教室

第1回町議会定例会 ..... P2～4

平成28年度予算特別委員会 ..... P5

町政ここが聞きたい..... P6～10

臨時議会報告・総務社会常任委員会所管事務調査報告 ..... P11

産業建設常任委員会所管事務調査報告・編集後記 ..... P12

# 平成28年 第1回 町議会定例会のあらまし

平成28年第1回町議会定例会は、3月8日(火)開会され、町政執行方針・教育行政執行方針・行政報告、議案等33件を審議、14日～16日の3日間で新年度予算等の付託議案を審議する予算特別委員会を開催、18日提案されたすべての案件を審議し閉会した。

## 町長行政報告

### 国保病院診療医師の体制

外科医長の戸田医長が2月29日付けで退職となり、新たな外科医師の早期確保に向け努力します。また、内科の常勤医師として、花岡知之医師が4月1日より勤務することが決まりました。花岡医師は、平成18年3月から社会福祉法人北海道療育園美幌療育病院に勤務し、平成22年より副院長をされ10年勤務されていきました。当院での業務については、一般内科・総合診療



外来のほか入院患者管理、当直業務を担当していただきます。

### プレママあんしんサポート119の開始

妊婦さんへの支援策として、出産に係る救急時にかかりつけ医療機関に直接搬送を行う、妊婦事前登録制度「プレママあんしんサポート119」を平成28年1月より開始しました。2月末で登録者は12名います。幸いにも、現在まで制度の利用者はいませんが、今後

も町民が安心して出産を迎えられるよう、制度の周知に努めるとともに、紋別地区消防組合消防署興部支署と連携し取組を進めます。

### 名寄市立総合病院救急センタードクターカーの運行

平成27年12月からドクターカーを運行しており、出動範囲に紋別地区消防組合

消防本部管轄も含めることになり、救急現場へ出動し医療活動が可能である旨の連絡がありました。ドクターカーは、ドクターヘリが天候不順などで飛行できない場合を補完することになり、また、病院間搬送にも利用できることから、救急現場における救命率の向上・後遺症の軽減などに大きな役割を果たすものと期待しており、名寄市立病院救命救急センターと連携し利用していきます。

### 「地方創生」地方版総合戦略

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少の歯止めと地方創生を図るため、人口動向を分析し、将来展望を示す「人口ビジョン」と今後5年間の目標や具体的施策等を示す「地方版総合戦略」の策定を進めてきました。昨年8月に設置されました「興部町総合戦略策定委員会」に

## 議会の動き

平成28年2月24日以降	
2月24日	議会全員協議会
27日	文化サークル交流の夕べ
3月4日	議会運営委員会 龍神講
7日	第1回町議会定例会(1日目)
8日	第1回町議会定例会(2日目)
10日	第1回町議会定例会(3日目)
12日	議会議長特別委員会
14日	議会議長特別委員会
15日	議会議長特別委員会
16日	議会議長特別委員会
18日	議会議長特別委員会
23日	議会議長特別委員会

計画策定を諮問し、本年2月19日に答申を受けました。今後は、答申内容を十分尊重し、「総合戦略策定推進本部」での協議や議会の審議を頂き、「興部町総合戦略」を最終決定する予定となっております。

### ひとくちメモ

○地方版総合戦略  
人口減少対策に重点をおいた施策・事業を具体的数値目標とともに示す計画。

## 大雪・暴風雪などへの防災対策及び災害対応

平成28年1月19日から20日にかけての低気圧通過に伴う大雪・暴風雪への防災対応です。1月19日午前9時より緊急の課長会議を開催し、自主避難所の開設、自治会を通しての災害弱者の避難、国道通行止めにおける物流、町道の除排雪などの対応・対策を行いました。

た。幸いにも大きな被害の発生はありませんでしたが、町民を対象とした避難所開設の周知体制、災害弱者避難における自治会への協力・連携について、町民の皆様よりご意見をいただいております。興部町地域防災計画・避難所運営マニュアルなどの運用策定において検討し意見反映していきま

す。次に、2月29日から3月1日にかけての低気圧通過に伴う暴風雪への防災対応です。3月1日早朝より風が非常に強まるなか、朝の通勤通学時間帯に国道238号線で視界不良による交通事故が発生し、事故車両が道路を塞ぎ通行不能となり、その後、暴風雪により通行止めとなりました。このため、一時的な避難者収容のため、興部・沙留地区に各避難所を開設し対応を図ったところでです。

## 新興部中学校校舎建設

校舎の基本設計が2月下

旬に完成し、引き続き実施設計業務の発注をすべく、鋭意その準備を進めています。今後は、実施設計の完了を待って、今年秋口までには校舎建設工事の発注を行うよう準備を進めていきます。

## 興部高等学校校間口確保対策

2月末日現在の出願者数は33名となっております。昨年同様30名以上の人数を確保しているところです。3月3日より試験が行われ、3月16日が合格発表の日程となっております。今後も、興部高等学校校間口確保対策協議会を中心に議会をはじめ、保護者及び教育関係者のご理解とご協力をいただき、一人でも多くの生徒が興部高等学校に入学していただけるよう、適切な支援策を講じていきます。

## 英語指導助手

現在勤務している、ジェフリー・ムーアさんは、本年7月末日で5年間の契約期間が満了となり、退任されます。8月からは、新たな英語指導助手が赴任することになっていきます。

## 専決処分を承認した案件

○平成27年度興部町一般会計補正予算  
(専決処分第3号)

補正額は、55万円を追加し、歳入歳出それぞれ48億4千608万5千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、興部保育所ボイラー修繕に伴う経費。

## 一般会計補正予算(第5号)

補正額は、6億446万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ54億5千54万6千円とし、原案どおり可決した。

24日	友の会総会 第1回紋別地区 消防組合議会定 例会
//	第1回西紋別地 区環境衛生施設 組合議会定例会
//	西紋別地区総合 開発期成会総会
31日	保育所卒園式 全員協議会
4月12日	第5回議会改革 特別委員会
15日	北才ホールツク農 業協同組合通常 総会
22日	議会広報特別委 員会
26日	議会運営委員会 第2回町議会臨 時会
//	議会報告会(興 部)
27日	議会報告会(沙 留)

## 歳出の主なもの

○情報セキュリティ強化対策事業  
4千95万円増

○年金生活者等支援臨時福祉給付金  
1千650万円増

○新興部中学校建築主体工事請負費  
2億730万円増

## 特別会計補正予算

特別会計等6会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①平成27年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算  
(第3号)

補正額は、1千374万1千円を追加し、総額7億4千105万5千円とした。

補正内容は、国庫支出金等の決算見込みによる増額等。

②平成27年度興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、195万9千円を減額し、総額6千100万1千円とした。

補正内容は、現年度分保険料の減額等。

③平成27年度興部町介護保険事業特別会計補正予算  
(第5号)

補正額は、679万8千円を減額し、総額2億7千316万1千円とした。

補正内容は、介護サービス利用者の減による給付費の減額等。

④平成27年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算  
(第3号)

補正額は、223万3千円を減額し、総額2億5千6万3千円とした。

補正内容は、工事請負費の入札執行残の減額等。

⑤平成27年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算  
(第5号)

補正額は、550万6千円を減額し、総額2億4千308万2千円とした。

補正内容は、各委託料、

工事請負費の入札執行残による減額等。

⑥平成27年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算  
(第2号)

補正額は、収益的収入及び支出の病院事業収益に7千494万1千円を追加し、収入総額6億8千552万1千円とし、収益的収入及び支出の病院事業費用を2千576万円減額し、支出総額7億280万円とした。

補正内容は、他会計負担金の増額及び年間延患者数の決算見込みによる収入及び支出の減額等。

## 制定・改正された 条例・規則

①興部町総合計画策定条例

②地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事項に関する条例の一部を改正する条例

③興部町行政手続条例の一部を改正する条例

④興部町情報公開条例の一部を改正する条例

⑤興部町個人情報保護条例の一部を改正する条例

⑥興部町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

⑦町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

⑧興部町税条例の一部を改正する条例

⑨興部町町税等の滞納者に対する行政サービス制限措置に関する条例の一部を改正する条例

⑩興部町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

⑪興部町地域福祉基金条例の一部を改正する条例

⑫興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

⑬興部町営スキー場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

⑭興部町公共下水道設置条例の一部を改正する条例

## その他議決された 案件

○興部町過疎地域自立促進市町村計画

○町道の路線の認定  
富丘線道路、オタツペ線道路、宇津線道路の3路線を新規認定した。

○興部町固定資産評価審査委員会委員の選任  
竹部英明氏を委員として選任することに同意した。



# 平成28年度 予算特別委員会

委員長 阿部 昭 一  
副委員長 佐藤 吉 春

3月14日～16日の3日間開催 【案件】各会計予算案及び関連議案計13案件

## 平成28年度各会計予算案を 予算特別委員会に付託

平成28年度一般会計を始め

6特別会計、国保病院会計の各予算案と関連する条例等5議案について、3月8日設置された予算特別委員会に付託された。

同日直ちに、予算特別委員会を開催し、阿部委員長、佐藤副委員長を選出、審査にあたっては慎重且つ十分なる審査を目標として、3月14日より審査を行った。



### 本会議委員長報告要約

我が町を取り巻く社会経済状況は、景気の緩やかな回復基調が続いており、経済の再生、財政の健全化、デフレ脱却に向け前進しているとされているが、地方経済を全般的に見ると、景気浮揚効果も波及しているとは言えず、先行きも不透明な状況であります。

このようななか、町の目指すべき将来像とした「魅力・活力・協力が融和し発展するまち・おこっぺ」の具現化に向けて、地方財政計画・町総合計画に基づき平成28年度予算案が編成された。

本予算の審査に当たっては、財政健全化や地方分権の取り組み等の諸課題を勘案し、住民生活環境に不可欠な行政サービスの怠ることのないよう、また、その予算が適切に執行されるよう、事業の

緊急性や必要性を考慮しながら慎重に審査を行った。

平成28年度予算執行、及び施策の実施においては、まづ、委員会の審査過程において出された意見を十分尊重するとともに、町の総合計画に基づき、着実に事業を実施し、早期に成果があらわれるよう予算の執行に努めること。

次に、新興部中学校校舎改築事業、バイオマス事業、生活インフラの更新事業をはじめとする重要課題を踏まえ、町の将来を見据えた上で、財政状況を勘案した予算の執行に努めること。更に「持続可能な健全財政の確立」に向け、職員一人ひとりが財政の危機意識を念頭に置き、各事業の執行に努めること。

また、行政サービスの実施にあたっては、住民に不安を与えることなく優しく

且つ分かり易い説明を怠ることのないよう特に留意すること。これらのことを踏まえたうえで、厳しい財政状況下において平成28年度予算が適切に執行されるよう望むところである。

3月16日、全ての審査が終了し、採決の結果平成28年度興部町一般会計予算他7特別会計等予算並びに関連する条例5件、合わせて13議案について、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○平成28年度興部町一般会計予算 42億730万円

○平成28年特別会計等予算合計 23億3千650万円

全8会計総計

65億4千380万円

(注)平成28年度各会計予算の詳細並びに町政執行方針及び教育行政執行方針は、「広報おこっぺ4月号」に同予算・事業等については、「おこっぺのまちづくり」(5月中旬配布)に掲載されております。

# 町政ここが聞きたい!!

**問**

**興部町に於ける交通弱者への対応について 早急にニーズ今の動向を把握して検討していく** 藤渡昭博議員 裕 一寿町長



**藤渡議員**

興部町の交通機

関は現在、住民スクールバス、患者輸送バス、リフトバス、その他に民間の路線バス、興部ハイヤーなどがあります。現状では大変不便で何とかしてほしいとの声を聴く機会が増えてきました。平成26年度重度身体障害者ハイヤー乗車料金助成事業では、本人の使用率は56・7%で家族に至っては45・5%と数字的にはかなり低いものとなっております。このような状況を踏まえ現在の交通システムを見直す考えはあるか。

**裕町長**

いつまでも安心して暮らせる地域暮らし懇談会を設置し、25年3月に提言ができました。病院や商店街の利用が増えるようになるので高齢者の足を確保してほしい、割と遠い地区については便利とはいえませんが、バスの巡回をしております、むしろ市街地の周辺地域の方が足の確保が難しく、買い物に行くにも病院に行くにも遠く、歩道の整備、巡回バスを走らせて欲しい、併せて、ハイヤーを利用しやすくしてほしい、あるいは介護タクシーや福祉ハイヤーの整備も提案されました。介護の関係については昨年、NPOの法人が設立され、今年3月から介護タクシーの対応をしました。ハイヤー助成券についても応援をしてい

ますが、ハイヤーの利用の不便さもあり、なかなか利用が増えない状態である事は重々承知しています。平成30年4月新しく統合中学校が出来、スクールバスの路線変更も必要になるので、その辺も併せて考えていきます。

**藤渡議員**

デマンドバスと

いう新しい交通システムの検討をしていただきたい。デマンドバスとは公共の交通機関並みの料金で自分の好きな場所で乗車でき、好きな場所で降りることができ、過疎化による運営が困難な地方の交通機関の現状解決や環境負荷の軽減にも繋がります。事前に電話などにより利用者の希望乗降地点や時刻を伝え、希望乗車地点に迎えに行き、通常は複数の利用者を乗せるので乗り合い型の利用形態となります。少子高齢化が進むなか、現在の交通システムでは限界があり、買い物、金融機関、病院、役場、学校など気軽に使える交通機

**裕町長**

コミュニティ

関として導入を考えていた。バスを導入して採算が合わない、デマンド型に移行しているところが多いように聞いており、しかし、これも一長一短あり今の時点で、この方法でという事は申し上げることは出来ません。早急にニーズ、今の動向、そして町内にどれくらいの必要としている人がいるのかという事の把握をしたうえで、この問題を検討していきます。

**藤渡議員**

東大の設計工学

研究室のオンデマンド交通研究チームが利用者の予約状況とバスの運行状況をコンピュータにより一括管理するシステムを開発しました。以前よりも大幅に低コストでドアツードアの交通体系を提供できるようになりました。このような交通網があれば町を離れる高齢者の方を少しでも減らせるのではないのでしょうか。話題になつていない自動運転

システムを利用して交通システムを考えられないか模索をしている自治体も出てきています。これからは、デマンド交通の導入にあたり様々な手法、展開が考えられます。町民の日々の生活に寄り添い、住民福祉の向上を目指すためにも新たな交通手段の導入を検討して頂きたい。

**裕町長** デマンド型なので予約がなければ走っていない様な誤解を受けることもあります。一人当たりの輸送コストが割高という計算もでていますが、このような新しいシステムを導入する町が増えていくのも事実です。小さい町がいかに今住んでいる人を最後までこの町で暮らしていただくかという事は非常に重要なポイントであり、大事なことはその町に住んでいる人をどう安心してより楽しんで暮らしていただけるかが重要だと思います。そういうことを踏まえたくうえで検討していきます。

## 問 第五期興部町総合計画の自己評価は

松川雄一議員

**答** ほぼ達成出来ている 裕 一寿町長



**松川議員** 町の行政指針となる第五期総合計画が平成20年から平成29年までの10年間で計画され、前期基本計画（20年～24年）170事業・後期基本計画（25年～29年）196事業、計画期間がまだ残ってはいるが、この10年間で事業達成成果をどのように評価するか。また、継続事業として先送りが予測される事業はあるか。

**裕町長** 私が町長になつてから初めて策定した計画である。平成24年まで自主財源再建

期間として、かなり事業を圧縮し財政再建に取り組み、ハード部分での事業は先送りし、後期基本計画の25年から29年に本当はやりたかった部分が盛り込まれてきた。特に大きな事業だった国民健康保険病院の改築、バイオマスプラント、新中学校の校舎整備など、ほぼ事業としては計画通りに進められたと思う。

**松川議員** 平成28年～32年・興部町総合戦略の企画計画の中「高齢者生活支援ハウス整備事業」1棟8戸増設、「高齢者下宿施設移転改築」10戸とあり、施行

自体平成32年度最終年になつており、いち早く進めるべく事業ではないか。

**裕町長** 必ずしも施行年度を確定したものでなく重要なものは前倒しすることもある。福祉施設の関係

**問** 興部町の介護保険施設の近い将来展望は  
**答** 近隣市町村との協調もして、ただし早急にシヨートステイの問題を  
松川雄一議員 裕 一寿町長

**松川議員** 高齢化率が高まる今後、要介護高齢者施設

に関し、全く施設を持たない興部町の将来展望をどのように考えているのか。

**裕町長** 特別養護老人ホームのような施設がない

当町は、現在西興部村あるいは紋別市等々近隣市町村に施設介護をお願いしている。ただ、ここ10年位特に軽度の認知症の方が非常に増えており、興部町は在宅介護を命題として進めてき

は、本来に必要な部分を色々と検討している段階で、確定という事ではない。

たが、認知症などで在宅ではご苦労がある。シヨートステイなども西興部や紋別のサンヒルズ等をお願いしていたが、介護の仕事をする方が不足して西興部の興楽園は4月から全体として8ベット用意していたが、2ベットしか受けられないという事になった。担当課としては小規模の例えば29床の特別養護老人ホームだとか色々な方法をずっと検討している。

松川議員

平成25年興部町

社会福祉協議会が地域住民に介護施設に関しアンケート調査した。〃施設が必要だと考えるのは〃の問いに「地域に住み続けたい」「子供が遠くにいる」「介護する人の負担を軽くするため」という答え。

我が町の住民が介護施設を必要とした時、在宅介護しながら近隣施設の空きを待つ。しかし、現状は現地居住者が最優先。施設が必要な事を早急課題としていた

また、軽度認知症の高齢者増加に伴いショートステイの施設が最低限でも必要ではないか。是非、検討して頂きたいのは国保病院のショートステイ利用の可能性を考えていただけないか。

碓町長

一つは認知症

対応の施設がどうしてもいる。今、デイサービスをしているが、消防法でスプリンクラーを設置しなくてはならなく大きなお金がかかる。私見だが、グループホ

ームをきらりに設置できないものか、特に介護3以下の方の入る場所がないというのが大きな問題で、今年度中に早急に方向性を出していく。もう一つショートステイの問題だが、とりあえず病院との連携の中と西興部ほか、他の施設との協力をいただきながら対応していきたいと考える。国保病院は医療型の療養病床で、あくまでも医療のかたちの中で受けながら対応する方向で検討させる。

ひとくちメモ

○総合計画  
町の最上位計画であり、長期的展望をもち総合的かつ計画的なまちづくりの指針となるもの。

問

「特定空き家」対策について

前田義雄議員

答

特定空き家判定会議を設置し  
対応

碓 一寿町長



前田議員

空き家対策特別

措置法が施行され、空き家の中でも倒壊の恐れがある、衛生面で有害である、生活環境に悪影響がある、いわゆる「特定空き家」に該当する物件は何件あるか。

碓町長

「特定空き家」

の認定はしていないが、空き家は126軒。うち興部1軒、宇津1軒、沙留6軒を危険空き家とし、他に13軒の危険空き家のある廃屋、計21件を危険空き家として認識している。これらの物件について所有者と連絡を取

れていない状況での利用は難しいのではないかと。

碓町長

ある程度町で

整備した中で、短・長期的な貸店舗やサークル等、街中で人が集まれるような環境にしたい。合わせて商店街への新規出店企業への支援を商工会と協力しながら進めたい。長屋形式の店舗の活用は難しいが、空き家対策を含め、28年度に議論していきたい。

前田議員

空き店舗の利活用

用については、特に住宅付き店舗の住宅部分は整理さ

問

アニユウの再編整備について

前田義雄議員

答

観光協会にテコ入れし観光事業を展開したい

碓 一寿町長

前田議員

6項目からなる

総合戦略を立て、その2点目でアニユウの再編整備、町のPR体制の充実と商工観光事業の推進、新たな体制づくりの中で特産品の通年販売、自家用野菜や前浜の新鮮な魚の販売、特産品

碓町長

道の駅アニユウ

の開発やPR体制の充実というが、どう進めるのか。ウを中心に「小さな観光づくり」の拠点として整備し、町内特産品の冬期間販売を試験的に進めている。地場産品協議会とも従来の



体制を一回白紙に戻し、新しい体制づくりを検討中。

今迄、手薄だった観光協会にもテコ入れしイベント、観光事業を展開したい。

**前田議員**

成長戦略、地

域おこしに欠かせないのは人材だと思うが「地域おこし協力隊」を利用する考えはないか。近隣町村はもとより、道も225人を25年までに670人を採る計画だ。商工会の職員や役場職員は本来の業務がある。

「やってみたい人」であればと思うが。

**裕町長**

観光協会を

充実、独立させていくべきとの考えでアニューウを整備し、どのような組織にしていくなか、まず「核」を作り、できた段階で検討すべきと考えている。他町村の様に観光施設もなく、ホテル事業をやる考えも無い。体験型のグリーンツーリズムや今あ



る産業をベースにした観光に発展させられないかと考えている。その受け皿となる観光協会としてい。

**ひとくちメモ**

○グリーンツーリズム 緑豊かな農山漁村で、自然・生活・人々の魅力に触れ様々な体験などを楽しむ余暇活動。

**問**

人口減少問題の対応及び雇用の創出や定住促進及び少子化対策について

佐藤吉春議員

**答**

保育料減免など経済的支援の他興部町に住んで良かったと思える対策を講じたい

裕 一寿町長



**佐藤議員**

平成28年2月17日、平成27年度国勢調査速報ができました。興部町の人口は4千人を切って3千9百8人となり、平成25年度3月に発行した第5期興部町総合計画後期基本計画よりも、2年も前倒しで4千人を切りました。平成26年第3回定例会の一般質問で、人口減少問題の対応についての私の質問に、「役場の管理職と十分勉強して検討していきたい」と、回答してから1年半経ちまし

たが、この問題は待ったな

して対策を考え対応を進めることが大事であるがどの様に検討したのか。又、第3章の生涯を支える町づくりに、子育て支援の拡充などによる「少子化対策に取り組む」としているが3年間の取組の現状をお聞かせください。

**裕町長**

管理職で政策研究会を立ち上げ、その研究を総合戦略に繋げております。定住促進については、町の基幹産業である農業に農家以外で80名、コントラクター事業で5名、バイオマスで3名増え、また沙留に一昨年作った公営住宅に紋別からわずかですが沙留に移住して頂く事もありました。少子化対策について

は、総合計画を作ってから、なかなか支援が増えなかったが、今回保育所等の対策を打ちます。財政再建が優先順位であり、その結果、人口4千人を切った事に繋がったかもしれません。今後段階的に保育料の減免も含め進めさせて頂きたい。

**佐藤議員**

人口減少問題、

実は確実に地方は消滅しつつあります。この現状を変えるには町を住みやすくすること、子供を産み育てやすくすることだと思いが、そのための町づくりとは何だと思えますか。

**裕町長**

地域性が大事

かと、ただお金を出すと言う事ではなく、保育時間、或いは若い人たちがなにか出来るようなこと、具体的には出てきませんが、町の再編と云うことも含め小学校の間口対策も併せて興部に住むことが魅力というあたりを作って行きたいと思っております。

**佐藤議員**

興部町に住んで

頂く若い世代の定着が重要

だと私は思います。ネットの検索で、町内の女性から届いたメールを紹介した3年前の町長日誌の中に、この女性が求めた医療費の助成や、若い人たちが増えてくれないという声に、「もつと生活環境全般に渡った仕組み作りを考える」と書いていたがどの様に考えたかお聞かせください。

**裕町長**

少子化対策は財源による優先的大命題であるが、今回保育料の無料化に踏み込んだ。今後、生活支援、シングルマザーでも頑張れる町など具体的な施策を展開していきたい。

**佐藤議員**

国の地域少子化対策強化事業の評価を受け、平成26・27年と東川町を含め3市4町が交付金を受けているが、興部町はこの強化事業に参加申請しませんでしたか。

**裕町長**

興部町は応募しておりません。

**佐藤議員**

少子化対策は喫緊の課題で成果が出るまで10年20年必要だ。東川町は



7年前から不妊治療の10回まで全額補助などで去年の国勢調査では986名の人口増です。興部町も特殊出生率を1・61から1・80迄上げる計画があるが、子育て支援や多子支援に對しどの様な支援を考えているか。

**裕町長**

東川町の対策も非常に重要だと思えます。その中で計画的に何を支援するのか、住宅施設・雇用対策或いは経済的支援など併せて、早急に計画を作りながら対応を打っていきたいと思います。

**佐藤議員**

色々な形で検討したいと言うお話を頂きました。それを期待して1問目を終わります。

**問**

観光商工業の育成について

佐藤吉春議員

**答**

観光協会の再編を含め具体的な提案など参考に計画づくりに生かしたい

裕 一寿町長

**佐藤議員**

平成26年第1回定例会の私の質問、観光商工業の育成について、「町として真剣に取り組む」と回答し、また28年の町政執行方針では「旅行者との相乗効果で2次3次産業に結びつく戦略を考える」としているが具体的な戦略をお聞きします。

**裕町長**

地場産品協議会の働きで、地場産品のブランド効果が出てきて、これにプラス体験型観光の模索を詰めていきたい。ただ本町には近隣町村のようなホテルはないので、他町村と連携して行く中、独自の方向を示したい。

**佐藤議員**

平成27年の町政執行方針の中、観光協会との協議の話が出てきたが、どの様な協議をしたのか。

**裕町長**

実際に事務所は商工会の事務局であり、片方に地場産品協議会の別組織もあり、その整理も含めて新しく組織の立ち上げの話し合いをしてきたところです。

**佐藤議員**

独立した観光協会も人材確保も絶対的に必要です。そして旅行者の誘致には宿泊施設が問題になるが、興部町にはどれくらいの宿泊客のキャパシティがあるか把握していますか。

**裕町長**

どれくらいのか。キャパシティがあるかは数字を持っておりません。

**佐藤議員**

戦略を立てるには宿泊客の数字の把握が大事です。近隣町村のようなホテルがない興部町の意欲のある旅館業者に、補助金

を出し日本伝統の旅館を整備してもらおう考えはありませんが。

**裕町長**

具体的な提案がございました。私案として言えば旅館だけでなく小さなホテルも可能性を含め参考にさせて頂きたい。

**佐藤議員**

前向きな答弁を頂きました。一緒に知恵を出して町づくりに貢献したいと思えます。

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は6月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

# 臨時議会報告

平成28年第1回町議会臨時会は、1月26日に開催され議決案件7件が審議された。

○平成27年度人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて各会計職員人件費を増額。

・平成27年度興部町一般会計補正予算  
(第4号)

補正額は、622万2千円を追加し、総額を4億4千553万5千円とし、原案どおり可決した。

・平成27年度興部町介護保険事業特別会計補正予算  
(第4号)

補正額は、5万8千円を追加し、総額を2億7千995万9千円とし、原案どおり可決した。

・平成27年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算  
(第2号)

補正額は、53万6千円を追加し、総額を2億5千229万6千円とし、原案どおり可決した。

・平成27年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算  
(第4号)

補正額は、5万8千円を追加し、総額を2億4千858万8千円とし、原案どおり可決した。

○制定・改定された条例

・町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
・特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について  
・興部町教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の制定

# 所管事務調査報告

# 総務社会常任委員会

2月12日、松田介護支援課長より次の2点を中心に説明を受け調査、審議をした。

一、高齢者福祉施設の種別と機能について

二、地域包括支援センターの業務と役割について  
介護保険施設の種別と機能では、特別養護老人ホームを始めとして機能、利用対象者、利用料、それぞれのメリット、デメリット、近隣施設等の内容による3タイプ。

同じく地域密着型サービス施設3タイプ。  
老人福祉法に基づく、有料老人ホーム、通称サ高住といわれる、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス等4タイプ。

その他の施設として養護老人ホーム、高齢者支援ハ

ウス〓きらり、高齢者下宿等の施設の概況と状況について説明を受けた。

意見として国の方針としては「施設から在宅へ」であるが、独居高齢者の増等の状況を考えると「施設の必要性」があるのではないかと。

近隣町村で、利用にあたって「地元優先すべき」の声が大きくなってきた。施設スタッフの確保が難しくなっており機能を十分に発揮できなくなっている。等々の意見があった。それに対し町の地域総合計画では「今後5年間は設備計画はない」という説明であった。

地域包括支援センターの業務、役割については、保健師、社会福祉士、介護支援専門員を配置し、3職

種の連携により住民の健康、生活安定のため必要な援助を行い、支援する目的との説明である。

(記：前田義雄総務社会常任委員)



# 所管事務調査報告

## 産業建設常任委員会

興部町基幹産業の一つであり、一昨年末の低気圧、昨年10月の台風等により多大な被害を受けた「漁業」の現状確認のため2月4日沙留漁業協同組合現地調査に赴いた。富田専務、鈴木参事の説明によると通常は2万tの総水揚げ計画が、被害影響から1万491tと激減した。ただ、金額に



ついては、単価高騰もあり34億8千400万円と例年並みで終わり、内訳はホタテ6千tの計画に、5千845t（前年対比65%大幅減）毛ガニ114t（前年対比6%増）サケについては、平成21年から安定しており毎年2千500t。平成16年から平成19年、爆弾低気圧が毎年来ていたが、年間平均総水揚げは1万8千tぐらい採れていた。1万491tというのは今回の時化被害が相当酷いという事である。平均数量的には2万tあり単価が200円弱で35億円〜40億円。昨年の1万tで35億ということは、どの品物も全部高くなってきたいて、サケもホタテもそうだが為替に助けられ、輸出価格だとか全道的に数量が落ち込んでいる

中、単価高になって来ているのが現状だという事だ。サケについて、興部ふ化場が新設され回帰率が上がり、平成29年からは施設が拡充し川もサケを採るランクアップ出来そうだった。ただ一番問題なのは、興部川河口が閉じてしまう事で、工事を請をされている。サケ定置網の被害は全道で100億といわれ、沙留漁協だけでも2億となるが今年の操業までには大体間に合うとのこと。ホタテについても昨年から道・興部町からの補助を頂き、耕耘事業を行い今年と来年の3年間計画であるとのこと。平成30年に船揚場が完成し、平成29年ごろから5年かけ外防波堤の拡張工事、平成39年度までに中央ふ頭・屋根付き岸壁工事、老朽化している

冷蔵庫、市場建設も横並びの中、計画検討中で、今後とも興部町からの援助要請を願われた。大変な危機意識のもと、漁業組合員107名の今後へ向かう総意を感じた。

（記：松川雄一産業建設常任委員）

### 編集後記

1988年（昭和63年）3月13日青函トンネル開業、今年2016年3月26日北海道新幹線開業。北海道にとつてまた一つ夢の実現です。しかし興部町にはまだまだその恩恵は遠く離れています。今後札幌そして旭川まで新幹線が延びたなら津軽、函館からの観光客が新幹線で2時間切つて旭川へ、そのあと車で2時間のオホーツクにきてほしいものです。興部町の魅力をもう一度確認し発信して行きましょう。

子供達も新入学、進級、進学、就職と今春新たなスタート、旅立ち、明日（未来）への挑戦ですね。今年の桜が、心に残る美しいものになってもらいたい。今を大切に一日いちにちを有意義に生きて欲しいと願っています。子供達が目を輝かせ夢や希望に挑戦する事を応援し、子供達の未来に責任を持てる町を目指し、これからも町民皆様からのご意見、ご提言を深く受け止め一つひとつの結果の積み重ねを大事にし、日々の議会活動に精進していきま

（記：竹内 清広報委員）

- |         |       |
|---------|-------|
| 広報委員長   | 藤渡 昭博 |
| 副委員長    | 松川 雄一 |
| 委員      | 阿部 昭一 |
| 委員      | 佐藤 吉春 |
| 委員      | 竹内 清  |
| 議会事務局長  | 日下 学  |
| 議会事務局主査 | 八木 実央 |